

天台ジャーナル

The Tendai Journal

第5号

2003年(平成15年)
8月1日 金曜日(毎月1日発行)
1部 50円(送料別)
発行所/天台宗出版室
〒520-0113 大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内
電話 077-579-0022(代)
Eメール/T-Press@tendai.or.jp

極微 ごくみ

夏が来た
梅雨が明けた。
今年の梅雨は、このほか長く、憂鬱な思いをした。天候ばかりではなく、毎日のニュースも、気の晴れないものが多かった。
日本は、みるみるうちに猟奇的な殺人事件が氾濫し、欲望ばかりが幅をきかせる国となってしまった。
何かがおかしい。世界から見れば、自由なのに、豊かなのに、レジャーも刺激も満ちあふれているのに、平和を満喫しているのに。それなのに、なんでもかんでも、欲求不満の人々で溢れている国。
何がおかしいかわかりますか？

親子のコミュニケーション



現場では犠牲者の冥福を祈る人々の姿が。長崎市才方町で

四歳と十二歳

酷い。
長崎の幼稚園児誘拐・殺人事件では、言葉を通じた犠牲者のご冥福を心より祈りたい。
私たちは、立て続けに引き

起こされる、子どもが加害者であり、被害者である事件に立ちつくんでいる。それは、日本という国のありようを揺さぶっているように思われる。

事件原因のひとつに性的なものが指摘される。それなら、周囲に性情報を氾濫させて、幼児の時から、その影響を否定なく受けさせている社会のありようも問われなくてはならない。
また、インターネットには「加害者」の写真と住所など

が書き込まれ、三時間に一人が閲覧したという。なんと浅ましい心根だろう。しかもそれが、全く別人だったというではないか。烏澁の沙汰である。
「犯人の保護者は市中引き回し」という現職大臣の発言は、やりきれないが、被害者とその家族の人権は、真剣に保護されるべきである。どうして、私たちの国はこんなに病んでしまったのか。

小学生少女四人が監禁された事件も、被害者は命に別状がなかったのが幸いとはいえ、本人達の精神に大きな傷を残した。
見知らぬ大人に「いいアルバイトがある」と誘われ、フラフラと同行してしまうのは、警戒心よりも欲望が上回っているからだろう。
仏師の松久琳琳さんの話を聞いたことがある。

「カネとは、文字通り刃物なんです。稼ぎ方や使い方をちゃんとわきまえていないと、カネは、人も自分も傷つけてしまうんです」。

このような事件が起きると、必ず「親子のコミュニケーション」が不足だった」という論が出され、あわてて親子の対話が図られる。親子の間にすでに深い溝ができていても、事件に対応して、とりあえずキャッチボールやゲームをするのだという。そのことを否定はしない。が、それは対処療法である。根を直視しない限り、問題の解決にはならない。

戦後の日本社会は、宗教を軽視して、自分のことしか考えない繁栄を築いてきた。

その結果「思春期の子どもが、親を相手にしない」と嘆き「何を考えているのかわからない」とオロオロすることになったのではないか。かつて、親は、初物は、まず仏壇に供えた。そして、そのお下がりを子どもに与えた。一番最初に食べるのはご先祖様であり、それを頂くのだという

生活が自然にあった。手を合わせる親の姿があり、子どもはそれを見て育った。
仏壇のない家庭では、人を悲しませてはいけないと教え、そんなことをすれば、仏様が見ていると教えた。
そのことを「親子のコミュニケーション」と呼ぶのではないか。

九州地方豪雨・宮城地震で罹災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
天台宗

素晴らしき言葉たち

Wonderful Words

ぼくは漫画のことを考えると、いつも希望がひろがります。少年の日(パーツ)としない少年(パーツ)がああ夏の強い海辺の砂の上に、棒を拾って何百と描いたポパイ、のらくる(略)、波はとどろいて空はセルリアンブルーで、確かに希望の色でありました。
谷内六郎画集 文芸春秋社刊

谷内六郎さんは、文芸春秋漫画賞を受賞した年に刊行された最初の画集の「あとがき」でこのように述べています。
谷内さんは幼い時から貧しく、病弱で「パーツ」としない少年」だったかもしれないが、人々の心に残る絵をたくさん残されました。
どの絵も懐かしく、温かいものです。
太陽に焼かれながら、砂の上に、漫画を描いている谷内少年には、未来の希望が見えていたのでしょうか。ちょうど、私たちが子どもの頃、誰もがそうだったように。





30年の歴史を振り返り、今後の展望を語る出席者
(左から杉谷理事長、西郊宗務総長、荒開教総長、菌事務局長)

- 出席者**
- 西郊 良光 (にしおか・りょうこう)
天台宗宗務総長
 - 杉谷 義純 (すぎたに・ぎじゅん)
天台宗海外伝道事業団理事長
 - 荒 了寛 (あら・りょうかん)
ハワイ開教総長
 - 菌 実丞 (その・じつじょう)
天台宗海外伝道事業団事務局長
- 司会
横山 和人
天台宗序庁総務部出版室編集長

開教30周年を迎えて

Discussion



法華一乗の教えを布衍するため、天台宗が海外開教に取り組み、三十年を迎える。その節目である本年をあえて開教元年と位置づける四師に、今後の海外布教について語って頂いた。

司会 今年、天台宗の海外開教は三十周年を迎えます。これまでの活動と、今後の海外開教の展望をお話頂ければと思います。

杉谷 今年迎える天台宗の海外開教三十周年は、同時にハワイ開教三十周年になるわけですね。振り返れば、天台宗の絶大なご協力があり、一方では荒開教総長の大変なご苦労がありました。今後、更に海外開教が発展するように、忌憚のないご意見を伺いたいと思います。

西郊 初期の頃は、荒開教総長はもちろんです。当時の事

荒 いえいえ、別院の責任者が私でなかったら、もっと違った展開もあり成果もあったろうにと、申し訳なく思っております。

この三十年の間には、宗教サミットなどを通して、宗内の国際感覚も大きく変わりました。お座主さんはじめ、宗内の方々も度々ハワイを訪れ、海外の宗教事情にも関心を持たれるようになったことも大きな要因でしょう。

ハワイでは、パロコ観音寺、マノア高岩寺、それにいま法人設立準備中のマカハ観



西郊良光宗務総長

開教元年と位置づけ

若い世代に新展開を期待

荒 カルナ天台達磨センターのお話が出ましたが、私が以前訪問した時、経済的な問題を任職夫妻に聞きました。その土地はローンで、大変苦労しておられるというお話がわかったのです。奥様が近くの店で働きながらローンの返済を続けておられました。それで当時理事長だった西郊先生に相談して、事業団が土地代を全額負担しようということになりました。ニューヨーク別院として支援していくというところになったことは、誠に同慶に耐えませぬ。

菌 開教戦略として重要なものに、インターネットがありますね。ニューヨーク別院がホームページを立ち上げていますが、ヨーロッパからもアクセスがあります。ドイ

音院の三カ寺が、天台宗の寺院として活動しております。これらは、別院の開創がなければ存在しなかった寺です。パロコ観音寺は六十年の歴史を持つ寺ですが、別院開創当時は曹洞宗の傘下で活動をしておりました。天台宗所属寺院として一緒にハワイ開教に当たって欲しいということと、今日の関係が出来たわけですね。

マノア高岩寺は、創設者のローズ慈久さんがまだ在家の主婦であった頃、日蓮宗にお参りしておられて、その帰りに別院の写経会に立ち寄られたのが縁で、天台宗に関心を持つようになり、羽場大僧正の弟子になってもらって今日に至ったわけですね。

マカハ観音院は、ベッド数が百余りの老人ホームが母体で、現実には四カ寺のうち最も社会的に活動をしている

荒 それは大切なことです。危険な面もあります。自分の解雇で勝手に動き出して、天台でないものを天台だとし、さらにそこに金銭がからんだり本来的なものごとずれる人が出る可能性があります。現地の布教師を束ねていく基本的な研修のあり方が是非必要です。

全部を比較山というわけにはいかないでしょう。海外に研修拠点を設け天台宗のあり方についての実践と、教学の立ち上げが急務です。それが開教元年だということだと思います。

司会 地道な布教活動と国際社会の求める天台宗の役割についてはいかがでしょうか。

杉谷 イラク戦争でも痛感しましたが、神に祈ることばかりです。それは、煩惱の祈りです。その限界といいますが、一神教で解決できない問題に気づいた人々は、東洋の思想、特に天台の教えに注



菌 実丞事務局長

寺だということもいえません。目下、施設を増築する計画が進められており、その機会に独立した観音堂を建立する予定です。

菌 三十年間で大きな変化は別院を取り巻く環境、特に信者が、これまでの二世、三世からいわゆる英語族にかわり、当初の資料が役に立たなくなってきたことです。新たな布教資料なり、布教法が確立されなくてはなりません。新しい海外開教を見据える、天台宗の海外開教元年を迎えるときが来ていると思っております。私どもは事務方として、宗門と荒開教総長はじめ開教使の皆さんの橋渡し役としてサポートをしてゆきたいと念じております。

しかし、三十年経っても開教使不足と開教使の経済基盤の問題は何ら変わっていません。これらをどう解決していくかが最優先課題でしょう。これらに対応できるように、アメリカ本土に拠点を創つていくのが使命であるかと思っております。

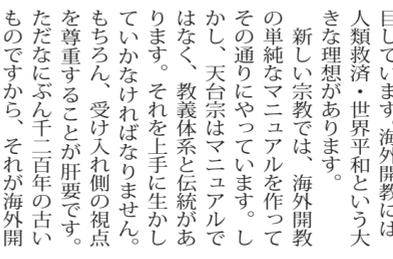
目して見ます。海外開教には、人類救済・世界平和という大きな理想があります。

新しい宗教では、海外開教の単純なマニュアルを作ったその通りにやっています。しかし、天台宗はマニュアルではなく、教義体系と伝統があります。それを上手に生かしていかなければなりません。もちろん、受け入れ側の視点を尊重することが肝要です。ただなになん千二百年の古いものですから、それが海外開教を邪魔している面も否定できません。現地の方の悩みやニーズにどう答えを見いだすかということが問われています。一例を挙げると、ここへ来れば、心が落ちるといような体験を教義上もストンと納得してもらおうとか。

海外開教は、打ち上げ花火ではなく、連続と続くことが大事なのです。そのためには、身を粉にするような地道な実践が必要になり、荒開教総長には、今後もご努力をお願いしたいと思っております。なにしてほしいと思います。

ハワイ別院はいいところですが、その雰囲気はいいから、ただでも価値がありますよ。荒 有難うございます。日本の寺院制度のように、檀家が何軒増えたかという形では、見るべき成果はなかったかも知れませんが、私は、寺院を増やして、現地の信徒や開教使を育てていくのも別院の重要な役割だと思っております。その意味では、この三十年はそれなりに一応の成果はあったかと思っております。

西郊 そう、その苦勞に報いるためにも、今年の秋には、参拝団を呼びかけて、百人は



杉谷義純理事長

して、そのお金を開教にぎ込んだ時にも「荒は、ハワイではなく日本で布教している」という誤解があったぐらいですから。布教法について言うならば、新しい宗教は、ハワイでは、現世利便的な信仰で成功しています。しかし、天台宗ならどう布教するのか、この三十年は、そのことを問い続けてきたともいえましよう。

杉谷 昔から仏教東漸といわれていますが、ハワイやアメリカ本土への開教は、大変重要な意味を持ってあります。他宗派の海外開教は、移民の方を中心にした方法、いわゆる移民仏教から始まりましたが、天台宗は「アメリカ天台を根付かせていく」という大きな理想をもって始めました。

もちろん、現実には地道に

も可能になった現在、伝統を生かしつつ、現地にあった布教法を考えていかなければなりません。

また、伝教大師が入唐求法された時は、中国でいろんな方たちのご協力を得、お世話になって、日本天台宗の教義が確立されたわけですね。日本国内には「海外に支援して何になるのか」という声も聞きますが、法のためには支援してゆくというのが本義だと思います。そういう意識が明確になることが開教元年という意味でしょう。それは、とりもなおさず報恩の行でもあると思っております。

西郊 国際天台学会では、日本天台のもつ教義は積尊の正當な思想体系であるという評価を得ております。ですから、天台は、仏教の本流とアメリカ本土で受け入れられる素地があります。嬉しいことに、ニューヨーク郊外にあるカルナ天台達磨センターが、今年からニューヨーク別院としてスタートすることになりました。

私も、天台宗開宗千二百年の三本柱のひとつとして、開教元年を掲げたいと思っております。全世界にむかって開教を推進したいと強く念願しております。宗門として、海外開教をできるだけバックアップすることが、世界平和にも通じるのです。ハワイ、アメリカ、インドも視野に入れていきたいと考えております。

参加するようにしたいと計画中です。

荒 千人じゃないんですか(笑)。

西郊 いや、まあ、大挙してということですよ(笑)。百は一見に如かずですから。

荒 先日、南総教区の方々とお話しする機会を得ました。若い方たちも同席していたので、マカハ観音院から「お経を教えたり、法事を手伝ってくれる、若いお坊さんが欲しい」と頼んで来ている。マカハは、老人ホームの増設と観音堂建立の計画を進めているのだが、短期間の交代でもいいから、仏教青年仲間でお手伝いに来てもらえないだろうか」と話しましたところ、早速「その中の一人が「まず、私が行ってみます」と名乗りをあげてくれました。宗務所長も「そういうことなら、教区で辞令を出そう」と言ってくれました。ある長老さんからは「開教使の生活費からは、我々仲間間でなんとかしたい」とも言っていた。それだけでも現地の者には大きな励みとなりました。

仏教青年会や若い方たちが、組織的に海外開教に協力してくれるとなれば、新しい海外開教の展開が期待できると思っております。

宗門も事業団も、この若い方たちの今後の活動を支援し、見守っていただきたい。あの時出来なかったけれど、今なら出来るようになったけれど、欲しかった。三十年は、そのきっかけにしたいですね。

司会 本日は有り難うございました。

海外布教方法の確立が急務

宗教音楽

天台声明の底力

もう一つの平和の祈り

ローマ法王も「ブラボー！」

祈りの音楽を東西融合

音楽は、国や言語を超越する。その音の底流に祈りがあれば、それは宗教音楽となる。

この宗教音楽を、現代人にも接しやすく、新しく創作し、民族や宗教を超えて広げようという試みがなされている。天台宗のなかで、人々の心を繋いでいく新しい活動を紹介します。



パンテオン神殿で大観衆を前に

滋賀教区・金剛定寺の野條住職は、三年前パチカンでローマ法王ヨハネ・パウロ二世と三十万人の大観衆の前に、天台宗の声明と西洋音楽を融合させた作品を発表した。

会場の一つとなったパンテオン神殿では、それまで、聖歌以外の音楽は禁じられていたが、ミレニアムにあたって、カトリック教会が改革をすすめる一環として、聖歌以外の音楽が計画されていた。

野條住職に白羽の矢が当たったのは、日伊文化協会の関係者が野條住職の融合曲に注目したため。それがローマ法王の耳に達して演奏のはこびとなった。

野條住職はもともと岡山で音楽の教職にあつたが、三十年前、声明の独特の旋律に興味を覚え、その研究に没頭するようになった。南都に奈良声明、高野山に真言声明をたずねたが「在俗では神髄を究めることができない」と思った。妻子はあつたが「どうしても」という思いがやみがたく、比叡山で四十八歳の時に得度する。それからは、住職になるまで六年間の小僧生活になるまで、西洋音楽からは離れた間、西洋音楽からは離れた

が、声明研究だけは続けていたという。

パチカンで披露された声明と西洋音楽との融合作品は『声明施法によるカンタータ・美しき神仏たち』である。西洋音楽と結びつけることで声明を「若い人にも知って欲しい」という声は今も耳に残っています。

パソコンで宗教音楽CDを製作

どの宗教でも根本はおなじ

滋賀教区の岡本台照行満坊住職は、開宗千二百年を記念して『生かされて』と題する自作のCDを作製した。長年あたたためてきた思いを作曲した四曲が収録されている。どれも柔らかかなメロディーで、歌いやすい曲ばかりである。

今年六月には、宗祖の御宝前にと総本山に奉納された。同住職は中学生の時に、チャイコフスキーのバイオリン協奏曲を聴いて感動して以来の音楽



作曲はパソコンで

「外国で通用するのかと心配だったが、長年研究してきた成果をパチカンで発表出来て自信がついた。声明もグレゴリオ聖歌も元をたどれば祈りの音楽。イタリア人からは、新しいジャンルの音楽として注目され、マエストロなどと呼ばれ面はゆい思いもしたが、大観衆の「ブラボー！」という声は今も耳に残っています。」

好き。「建物や、仏像には興味があるのに、声明は聞いたことがないという人が多い。西洋音楽を取り入れた宗教音楽を作りたかった。そこで、C

D作製のために七十歳を前にパソコンを特訓した。平成十二年に本堂が落慶したときも「是非、音楽法要をやりたい」と、自ら作曲した『この清らけき』を女性合唱団が歌い、そのあとに僧侶の声明が続くという独特の法要を厳修した。

今回収録されている『生かされて』の歌詞には、一隅を照らす運動の三つの柱をとりあげ、一番には共生を、二番には奉仕を、三番には生命をうたっている。また、『法(のり)のみなもと』の歌詞では、仏教・キリスト教・イスラム教をはじめ、諸宗教も根本はおなじと、比叡山上での平和の祈りをうたった。

「音楽法要というのは、他宗派の方にも有り難く思っ

好評発売中

鎌倉時代に生まれた仏教経典の一大傑作
観音経絵巻(メトロポリタン美術館蔵)を完全再現

観音経絵巻

原寸大復刻版

サイズ 縦239ミリ 横1,349ミリ
本体価格 一四〇,〇〇〇円(消費税別)

世尊偈

扁額2点セット

扁額サイズ 縦600ミリ 横1,800ミリ
本体価格 二八〇,〇〇〇円(消費税別)



資料請求券
この部分を取りとり、ハガキ等に貼り、ご住所氏名を明記の上、発売元まで郵送ください。
パンフレット等の参考資料を無料で配布いたします。

発売元 株式会社イーアート
〒107-0052 東京都港区赤坂四一三三-五
赤坂オフィスハイソ 二四九

電話 (03) 3582-7211 ファックス (03) 3582-7223
E-mail: sales@e-art.ne.jp URL: http://www.e-art.ne.jp

お便りを下さい

あなたの周りでの出来事、ご感想をお送り下さい。
また、取材について「こんな出来事、あんな人々」をお知らせ下さい。
封書、FAX、Eメールで、天台宗出版室まで。
連絡先は、題字横です。

FAXは、077-578-4814

もらえるようです。祈りのこもった歌というのは、誰の心にも響くものです。
CDは一枚千八百円。問い合わせはTEL0748(22)1953/行満坊まで。